

(別紙)

## I 令和2年度事業報告

### 1. 採卵経営をめぐる情勢

令和2年度の鶏卵相場は、年度の初月から新型コロナウイルス感染症の感染防止に伴う外出の自粛や第1回目となる緊急事態宣言の発令により、外食向けの需要が大幅に減少し、卵の流れが読めない状況での幕開けとなった。5月になっても卵価は上がらず、東京市場では1kg当たりのM基準値(月平均)において8月に145円を記録し、月平均が150円を下回る結果となるのは、直近5年間では2度目であり、「100円相場」と言われた令和元年の1月(121円)以来となるこれまでにない厳しい状況となった。

下半期になって卵価が上昇したのは事実であるが、例年に比べて上がり幅は非常に小さく、卵価の月平均も8月から12月まで5年間の中で最低を更新し続けた。年明け以降は例年並みもしくはそれ以上に卵価の上昇が見られたが、この要因としては、全52例、総殺処分数約987万羽を数える前代未聞の規模となった高病原性鳥インフルエンザの影響が非常に大きいと思われる。

弊会でも発生地域の会員や発生農場となった農場から聞き取りを行い、現地の窮状を事務局を通じて農林水産省や県にも逐一伝え、行政に対し現場の声を伝えてきた。また、会員の皆様から頂いた情報を踏まえ、会として「高病原性鳥インフルエンザウイルスの発生に係る農業災害対策に関する要請」をまとめ、農林水産省の関係部局に対し養鶏家への支援を要請、弊会役員と防疫対策について意見交換を行った。鳥インフルエンザは、我々養鶏家にとっては経営を左右する重大な問題である。我々生産者も引き続き、育成期のワクチネーションや本病を含めた鶏病一般の衛生・防疫対策などを行うと共に、行政や地域と一体となってこれに当たる必要がある。

鶏卵生産費の最大科目である飼料費は全農発表の配合飼料価格(全国・全畜種平均)でみると、上半期の2期は(4-6月期と7-9月期)は値下がりしたものの下半期の2期(10-12期と1-3月期)は値上がりしている。特に1-3月期においては約3,900円の値上げとなり、通算ではトン3,540円の値上げになった。

現状厳しい状況が続く中、運賃や人件費などの諸経費のアップや鶏卵相場の低迷で苦しい経営を強いられた。とりわけ、高い飼料費の負担が大きく、本会が年4回実施している飼料実態調査でも大中規模経営と比較し、小規模経営の飼料購入費はトン当たり1万円以上のハンディキャップを背負わされている。

令和2年度を総括すると、新型コロナウイルス感染症や高病原性鳥インフルエンザの感染の拡大など、個々の経営で解決できない問題に対し、組織的な活動力を高めて活動を行うとともに、鶏卵相場低迷から経営の防衛をはかりつつ他産業に負けない労働環境を整備することが求められた。

また、今後は飼養衛生管理基準や防疫指針の見直しが国でも検討されている中、生産者としてこの課題にどう取り組むか、加えて新型コロナウイルス感染症対策などの新たに発生した問題へどのように対処するのかが重要になり、個々の経営力を総合的に高めることが非常に重要になっている。

そうした情勢を踏まえ、昨年度具体的に展開した諸活動は以下のとおりである。

## (1) 第54回通常総会

日 時：令和2年6月25日(木)

議 事：

第1号議案 令和元年度事業報告に関する件

第2号議案 令和元年度収支決算および監査報告に関する件

第3号議案 令和2年度事業計画に関する件

第4号議案 令和2年度収支予算および会費の徴収に関する件

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止観点から書面決議

## (2) 役員会・正副会長会議等

### 1) 第1回正副会長会議

日 時：令和2年6月4日(木)

方 法：WEB開催

内 容：令和2年度総会提出議案・9月セミナーについて など

### 2) 理事会

日 時：令和2年6月25日(木)

内 容：総会議案について など

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止観点から書面決議

### 3) 第2回正副会長会議

日 時：令和2年8月6日(木)

方 法：WEB開催

内 容：9月セミナー・今後の事業計画について など

4) 第3回正副会長会議

日 時：令和2年11月10日(火)

方 法：WEB開催

内 容：12月セミナー・養鶏分科会について など

5) 高病原性鳥インフルエンザに関する緊急役員会

日 時：令和3年2月13日(土)

方 法：WEB開催

内 容：多発する高病原性鳥インフルエンザに関する対応 など

6) 第4回副会長会議

日 時：令和3年2月22日(月)

方 法：WEB会議(併用)

内 容：高病原性鳥インフルエンザに関する要請書について など

7) 第5回正副会長会議兼役員会

日 時：令和3年3月9日(火)

方 法：WEB会議(併用)

内 容：農林水産省との高病原性鳥インフルエンザに関する意見交換 など

(3) 情報活動

「全鶏FAXつうしん」を中心とした情報提供 43回

※希望者にPDFファイルでメールやFAXを送信した。

(4) 研究・調査活動

1) 飼料価格実態調査(計4回実施)

4-6月期、7-9月期、10-12期、1-3月期

2) 卵の需給状況調査

令和2年4月～令和3年3月(計12回実施)

3) 台風10号等の自然災害に関するアンケート(当該地域会員向け)

4) 高病原性鳥インフルエンザに関する各種制限に関する実態調査  
(当該地域会員向け)

5) 各種セミナー開催に伴うアンケート調査

## (6) セミナー・研究会等の開催

### 1) 7月セミナー(例年は6月の通常開催と同時開催)

日 時：令和2年7月30日(木)

方 法：WEB開催

参加者：45名

内 容：

<飼料セミナー>

「飼料主原料の最新動向」

兼松株式会社 穀物部主原料課 課長補佐 尾上 翔太 氏

「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 取締役営業部長 高杉 庄太郎 氏

<講演>

「消費者の求めるたまごとは」

一般社団法人日本たまごかけごはん研究所

代表理事 上野 貴史 氏

「コロナ禍に伴う、コスト削減の重要性」

株式会社グットフェローズ スイッチ事業部

シニアコンサルタント 中後 有史 氏

### 2) 9月セミナー

日 時：令和2年9月25日(金)

方 法：WEB開催

参加者：48名

内 容：

<飼料セミナー>

「飼料価格の最新動向」

兼松株式会社 穀物課課長補佐 尾上 翔太 氏

「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 取締役本部長 高杉 庄太郎 氏

<講演>

「パルシシステムのSDGsに関する取り組み」

パルシシステム生活協同組合連合会 広報本部

商品企画部 部長 加藤 かおり 氏

「想定外は必ず起きる～BCPの基本～」

ニュートン・コンサルティング株式会社 花井 香奈子 氏

3) 12月セミナー

日 時：令和2年12月17日（木）

方 法 WEB 開催

参加者：55名

内 容：

<飼料セミナー>

「飼料価格の最新動向」

兼松株式会社 穀物課課長補佐 尾上 翔太 氏

「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 取締役本部長 高杉 庄太郎 氏

<講演>

「規格外卵対策について」

J A全農北日本くみあい飼料株式会社

本社営業部 養鶏課 鈴木 洋志 氏

「高病原性鳥インフルエンザについて」

共立製薬株式会社 営業企画本部

テクニカルマネージャー 吉川 透 氏

4) 第50回全国農業経営者研究大会養鶏分科会（弊社主催）

日 時：令和3年2月4日（木）

方 法：WEB 開催

参加者：47名

内 容：

<講演>

「有限会社阪本鶏卵の取り組みについて」

有限会社阪本鶏卵 代表取締役 阪本 晃好 氏

<情報提供>

「飼料価格の最新動向」

兼松株式会社 穀物課課長補佐 尾上 翔太 氏

「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 取締役本部長 高杉 庄太郎 氏

## 5) 3月セミナー

日 時：令和3年3月25日（木）

方 法：WEB開催

参加者：49名

内 容：

<講演>

「今季の鳥インフルエンザの状況について」

共立製薬株式会社 営業企画本部

テクニカルマネージャー 吉川 透 氏

「セーフティネットについて」

株式会社日本政策金融公庫 審査部

専門デスク第三グループ

上席グループリーダー代理 金塚 佳久 氏

一般社団法人日本養鶏協会

業務第一部長 野澤 篤也 氏

(鳥インフルエンザ経営再建保険・互助基金ご担当)

## (7) 各種団体との検討会

- 1) 一般社団法人日本養鶏協会・日本鶏卵生産者協会、鶏卵輸出準備分科会などの各種打ち合わせ
- 2) 株式会社ゼンケイ（特別賛助会員）との意見交換、情報交換を開催
- 3) 農林水産省生産局食肉鶏卵課との意見交換
- 4) 農林水産省消費安全局動物衛生課との意見交換
- 5) 「高病原性鳥インフルエンザウイルスの発生に係る農業災害対策に関する要請」(農林水産省生産局及び消費安全局の関係部局に対し要請活動を実施。28ページ参照)